

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

自然系コース(理科)  
／米澤 義彦

## ■平成23年度の目標に対する自己点検・評価

## Ⅰ. 学長の定める重点目標

## Ⅰ－1. 教育大学教員としての授業実践

本学の目的は、豊かな教養と教育実践力をもった教員を養成し、学校現場に送り出すことにある。このことを実現するには、教科専門・教科教育・教職専門等の各分野の授業が、学校現場の実践と関連性が保たれていることが必要である。あなたは、教員養成大学の教員として、本年度はどのような授業計画を立て実現しようとするのか、これまでの取り組み状況を総括し、具体的に示して欲しい。

## 1. 目標・計画

- ①前年度実施できなかった、学生の自主的な学習を促すための授業内容に関するレポートを課すことを実施したい。また、これにもとづいて議論を行う方法を一部に取り入れたい。
- ②授業で用いる資料のPowerPoint化を図る。
- ③本学の方針に基づいて、厳格な授業評価を行う。

## 2. 点検・評価

年度目標①に関しては、中間報告で報告した授業のほかに、後期に「初等理科」を担当したが、レポートを課すことはせず、アンケートで済ませてしまった。100名を超える受講者に対して、レポートを課すことは困難かも知れない。年度目標②については、昨年度の受講者の要望に応じて、資料をPowerPointで提示したが、これは失敗であった。授業内容は昨年度とほぼ同様であったにもかかわらず、期末試験の成績は、全体的に悪く、結果として受講者の1/3程度が合格点に届かなかった。学習内容の理解のためには、「板書の内容をノートに写す」作業が必要であると考えられる。年度目標③に関しては、中間報告及び前述の通りである。

## Ⅱ. 分野別

## Ⅱ－1. 教育・学生生活支援

## 1. 目標・計画

- ①授業、特に卒業研究に関連した授業で英語を積極的に取り入れる。
- ②俗に言う「早寝、早起き、朝ご飯」の生活態度を確立させるために、1時限目の授業において、遅刻者の入室を制限する等の方策を考える。

## 2. 点検・評価

年度目標①に関して、「生物学Ⅲ」の授業において、英語の参考書を用いたが、受講者が大学院の長期履修生1名であり、評価できない。  
年度目標②に関して、1限目の授業は1年次対象の「基礎演習」のみであったので、さすがに目に余る遅刻者はなかったが、一部を分担した3年次生対象の「教科教育実践Ⅲ」においては、第1回目の授業時に「遅刻は減点する」と明言し、私の担当分については、その通り実施した。

## Ⅱ-2. 研究

### 1. 目標・計画

①本年度は、昨年度に引き続いて、野生ギクを対象とした分子マーカーによる雑種個体群の解析を継続して行う。これは岡山理科大学と共同で行う。  
②学習指導要領の改訂に伴う中学校及び高校の実験項目及び方法を精査し、改良を図る。

## 2. 点検・評価

年度目標①に関しては、大学院生の協力もあり、ほぼ順調に進んでいる。  
年度目標②に関しては、中学校第2分野に新しく取り入れられた「遺伝の規則性と遺伝子の本体」の単元に関する生徒実験の改良を、大学院生と共同で行った(鳴門教育大学授業実践研究に投稿中)。また、中学校と高等学校の両方で生徒実験として取りあげられている「花粉の発芽と花粉管の伸長」に関する実験についても、高校教員及び附属中学校教員と共同で、現在その実験方法の改良に取り組んでおり、5月頃には改良された方法の確認実験を行う予定である。

## Ⅱ-3. 大学運営

### 1. 目標・計画

①創立30周年記念誌編集委員を含めて、各種委員会委員としての責務を果たす。

## 2. 点検・評価

昨年3月の東日本大震災の影響で、創立30周年記念事業が大幅に縮小されたが、記念誌の出版は予定通り行われ、編集委員としての責務を果たした。

## Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

例年どおり, 附属幼稚園の園外保育の指導や, 附属小・中学校での授業研究会等に参加して, 附属学校教員の資質向上に寄与する。  
アフガニスタンの復興支援については, 現地への出張が困難な状況にあり, 国内で可能な支援を行うこととする。ただし, 現地の情勢が許せば, JICAの養成の応じて, 現地での支援を行いたい。

### 2. 点検・評価

附属幼稚園の園外保育の指導は例年通り行った。また, 国際交流に関しては, 2012年2月日本学で行われたJICAの国別研修「アフガニスタン教授法改善」に参加し, 研修生が帰国後にアフガンで行うワークショップの準備(実験内容, ビデオ撮影など)の指導を行った。

## Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

2010年度及び2011年度の附属小学校学校関係者評価委員会の委員長を務め, 報告書のとりまとめを行った。